

## 褒め方のコツ

お子さんに対して「褒める」「認める」「感謝する」など、肯定的な注目をしてみましょう！

肯定的な注目をすることで・・・

- ・その行動を増やすことができる
- ・子どもは認められていると感じ、**自信につながる**
- ・子どもは他のことでも**協力的になる**

パーフェクトを待っていると、せっかくの褒めるタイミングを逃してしまうかも・・・

### \* パーフェクトは待たずに、褒める \*

課題を完全にやり終えた時に褒めるのではなく、  
好ましい行動をしようとしている時、始めた時、指示にしたがった時、行動が前より良くなっている時 など

### \* 子どもを褒めるのではなく、子どもの行動を褒める \*

例 × 「いい子だね」 → ○ 「片付け始められたんだね。偉いね」  
(目に見えている) 具体的な行動に対して言葉をかけましょう。

### \* 皮肉や批判は避けましょう \*

例 × 「片付け始められたんだね。偉いね。言われなくてもできればもっといいのに」  
→ 皮肉を言われるとせっかくの肯定的評価もだいなしに・・・

### \* 子どもの性格や感じ方、年齢に合わせたほめ方を工夫しましょう \*

人前で褒められるのが好きな子もいれば、さりげなく褒められるのが好きな子もいます。  
どんな接し方が合っているか、試してみましょう。

あなたのお子さんほどのタイプ？

- ・にぎやかにほめられることが好き？
- ・さりげなくそっと静かに？
- ・ジェスチャーで？
- ・ことばで？

